

# Visor アルミニウム製ひさし（庇）

## RS-FST型 施工要領書

確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。



### — 目 次 —

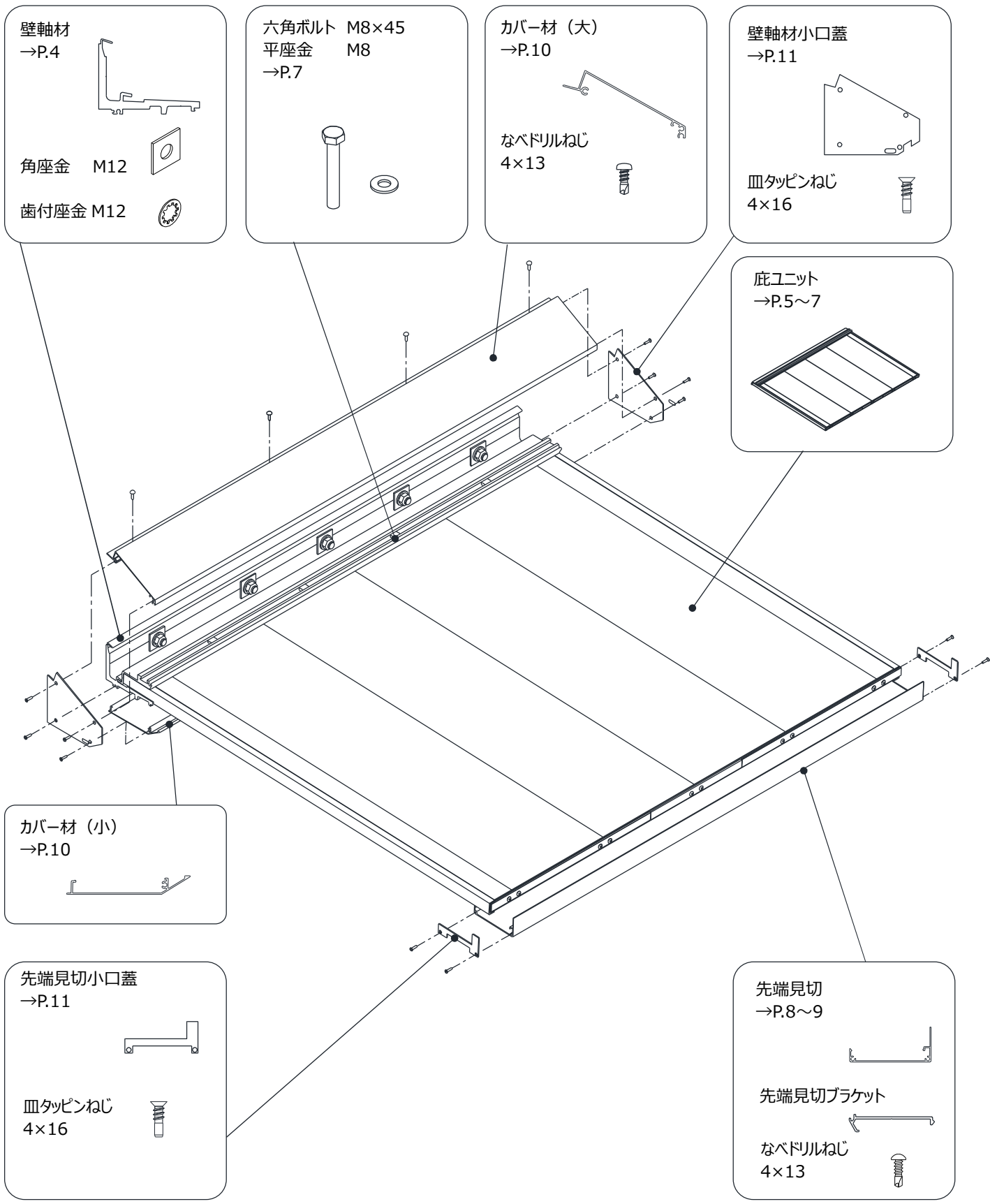
施工上の注意点	_____	1
部材名称	_____	2
施工手順	_____	3~12
施工確認チェックシート	_____	12

### 施工上の注意点

- 転落や破損の恐れがありますので、庇に乗ったりぶらさがったりしないでください。
- ねじやボルトは全て確実に締めてください。
- 施工後、ねじやボルトにゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所等がないか確認してください。
- 庇の角度は指定角度範囲内で使用してください。
- 正規の施工方法以外での取付けや、改造等は行わないでください。

※ 改良のため、予告なく製品の一部を変更する場合があります。御了承ください。

■ 部材名称 RS-FST 型



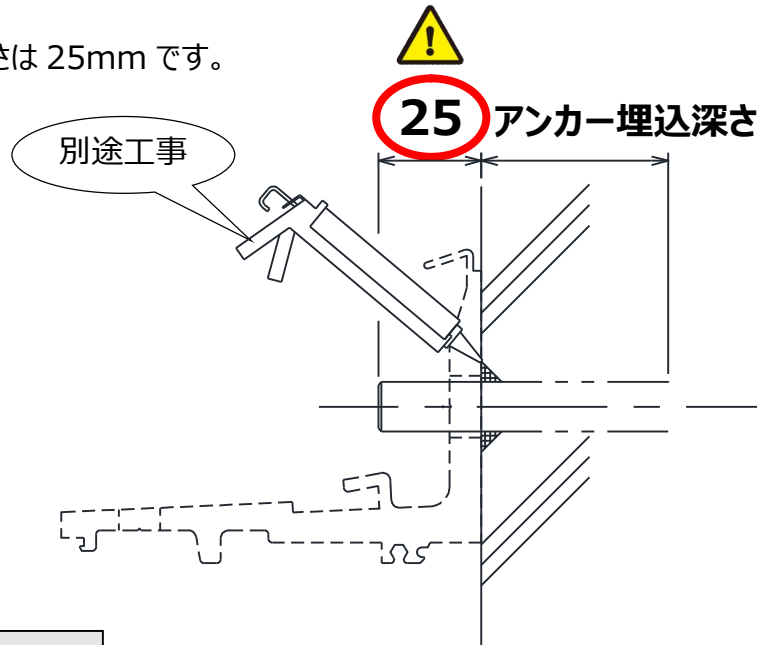
# ■ 施工手順

## 1. 墨出しをする

アンカープランに従い、墨出しを行います。

## 2. 取付ボルトを準備する

- ボルト出し長さは 25mm です。



### 準備するもの

- 取付ボルト M12 (別途)

### ⚠ 注意

- ☑ アンカーの埋込深さは、仕上モルタルやタイル等の仕上材厚さを含まず、躯体部分に確実に入るようにし、規定寸法を確認してください。
- ☑ ボルトを規定の長さ以上出すとボルトがパネル軸材にあたり取付が出来ない場合があります。
- ☑ あと施工アンカーによる施工は RC 躯体のみです。
- ☑ アンカー取付位置については、アンカープランにてご確認ください。
- ☑ アンカーは、アンカーに発生する引抜力に対し、十分安全であることを確認し使用してください。
- ☑ 躯体によりアンカーピッチを変更する場合は、壁軸材に新設穴をあけて取付けてください。アンカー数は減らさないでください。

### 3. 壁軸材を取付ける

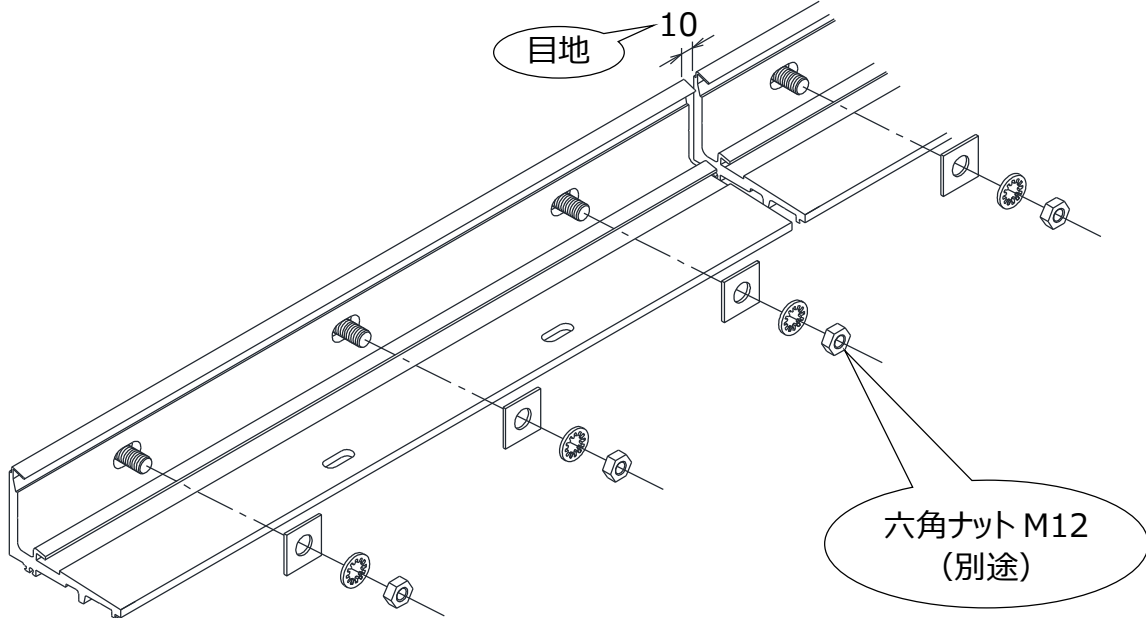


**壁面の出入りを調整し、壁軸材を取付けてください。**

壁軸材は、角座金と歯付座金を使用し、取付ボルトを本締めします。

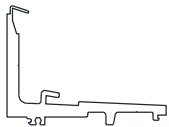
壁軸材を 2 本以上取付ける場合

壁軸材同士に 10mm の目地を設けます。



#### 準備するもの

- 壁軸材



- 角座金 □32 t 2.3



- 歯付座金 M12

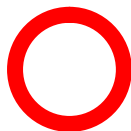


- 六角ナット M12 (別途)



#### 注意

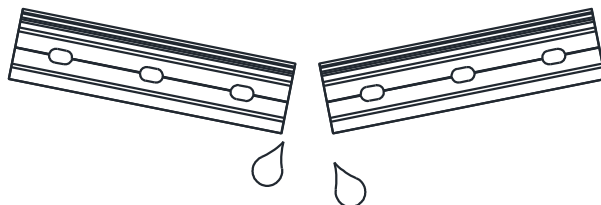
壁軸材を 2 本以上取付ける場合、目地部が谷にならないようにしてください。



水平／八の字

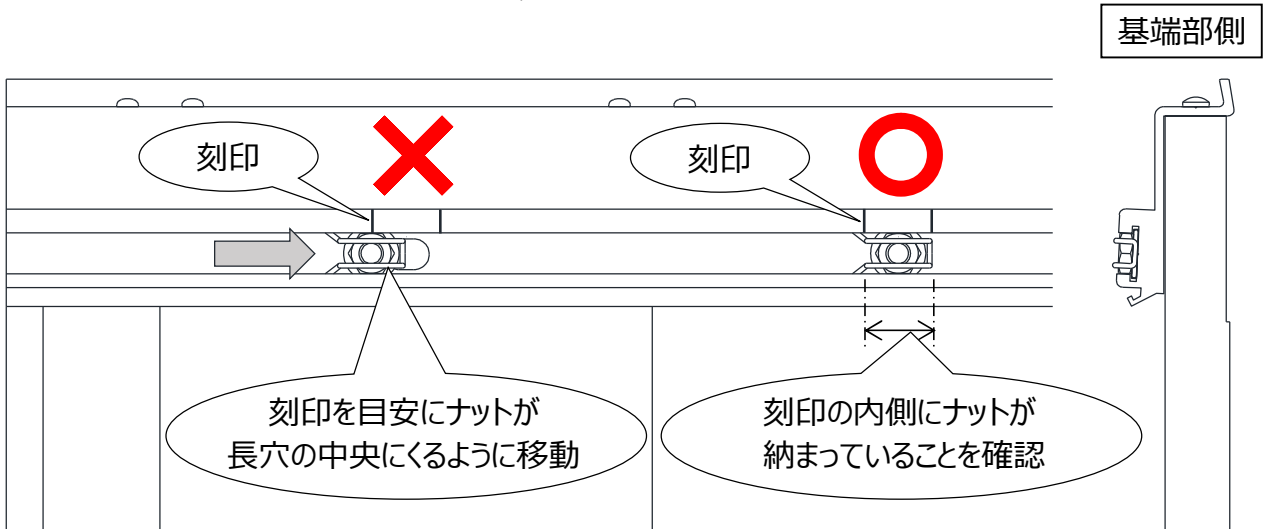


V 字



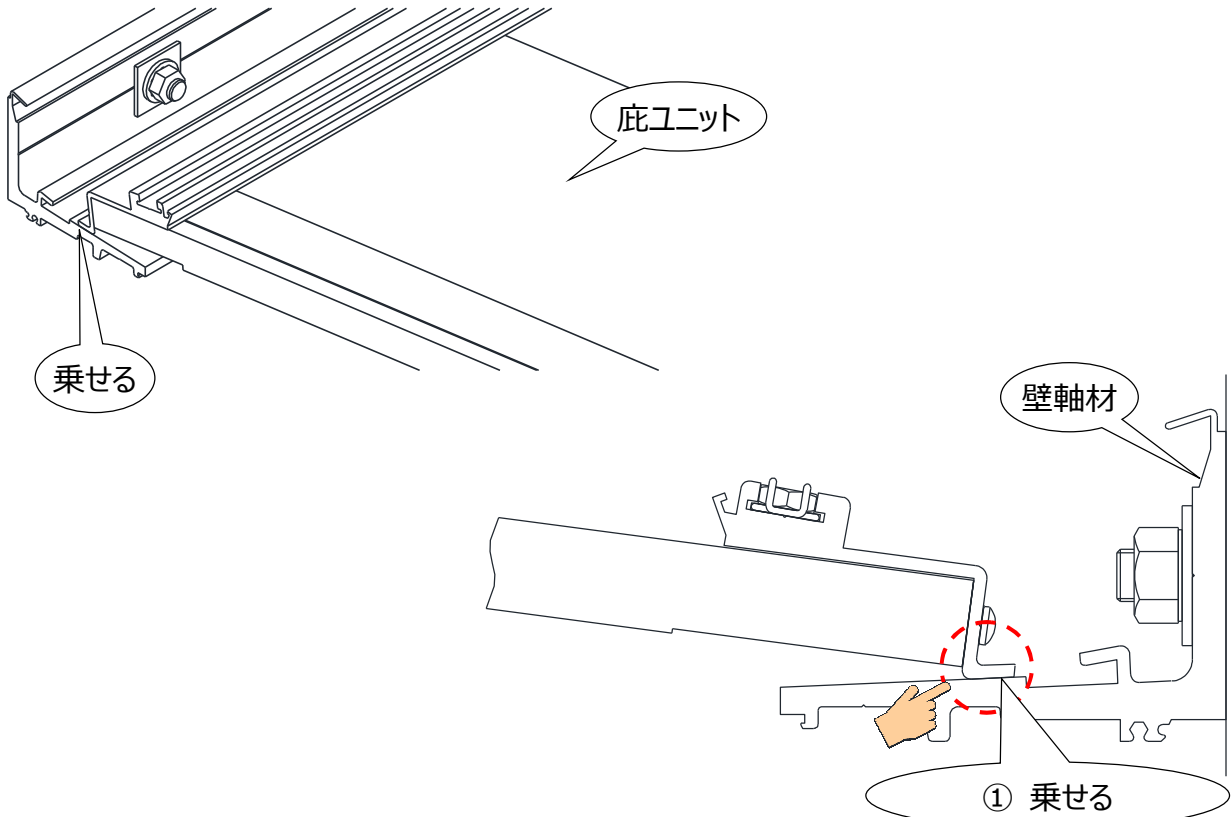
## 4. 庇ユニットを取付ける

〈 確認 〉 ナットが庇ユニット基端部にある刻印の中央にあるか位置を確認してください。  
ナットがずれている場合、刻印の中央に移動させてください。



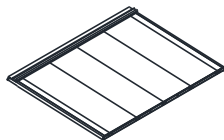
### ⚠ 左側から順に施工してください。(推奨)

① 庇ユニットの基端部側を壁軸材に乗せ、

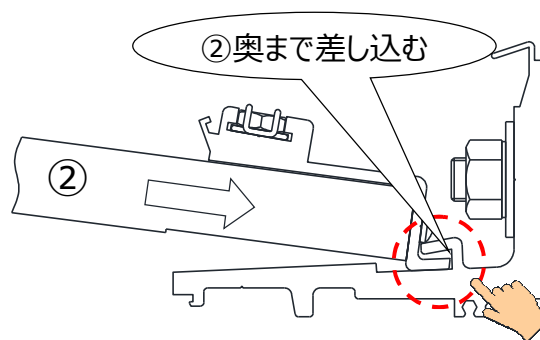
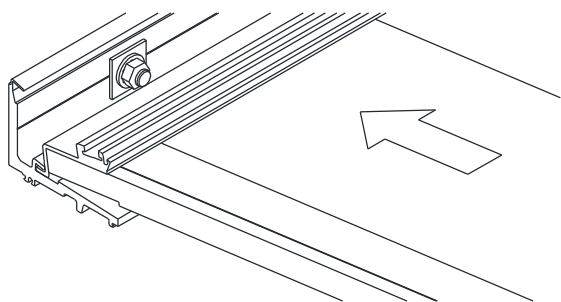


### 準備するもの

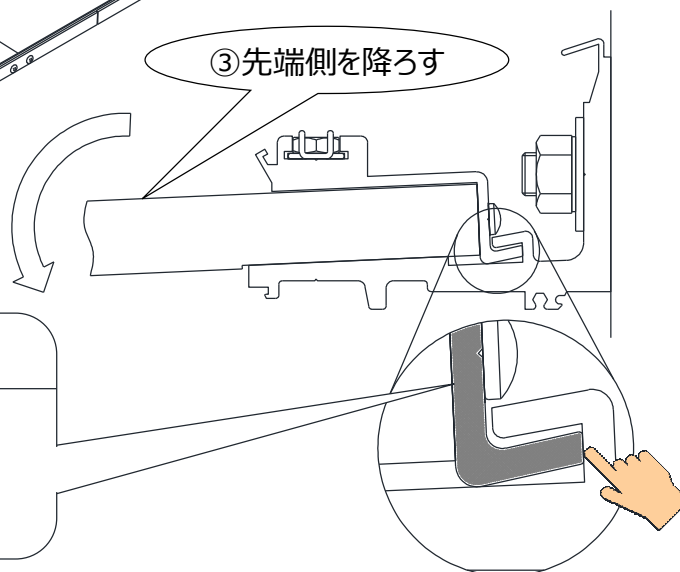
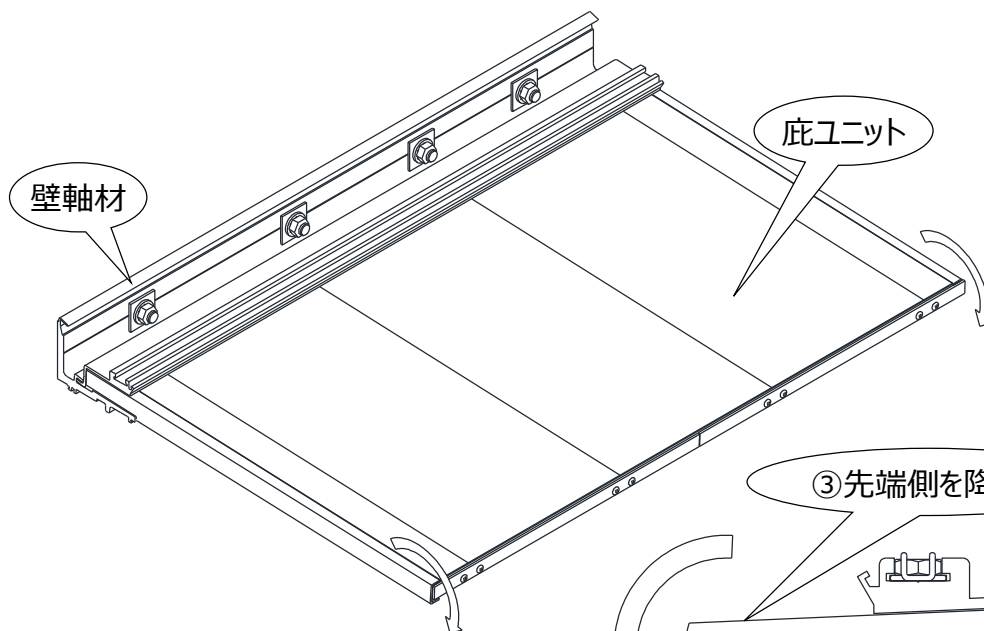
● 庇ユニット



② 庇ユニットを奥まで差し込み、



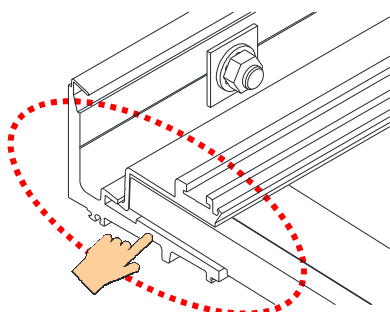
③ 庇ユニットの先端側を降ろします。



**!** 注意

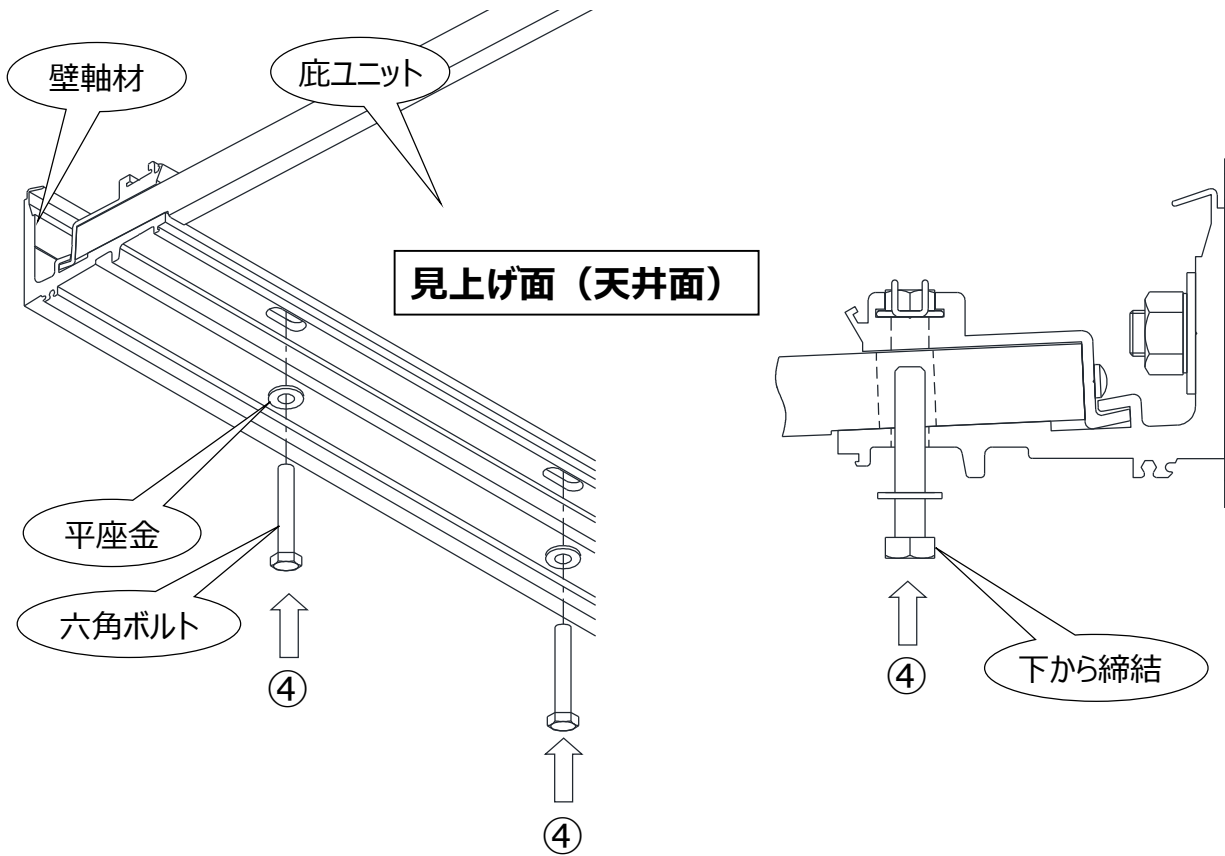
庇ユニットが壁軸材に確実に引っ掛かっていることを確認してください。

**!** 注意



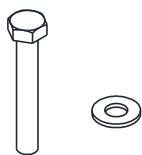
壁軸材と庇ユニットとの端面を揃えてください。  
小口蓋が取付けられない場合があります。

④ 六角ボルト、平座金で見上げ面（天井面）から締結します。



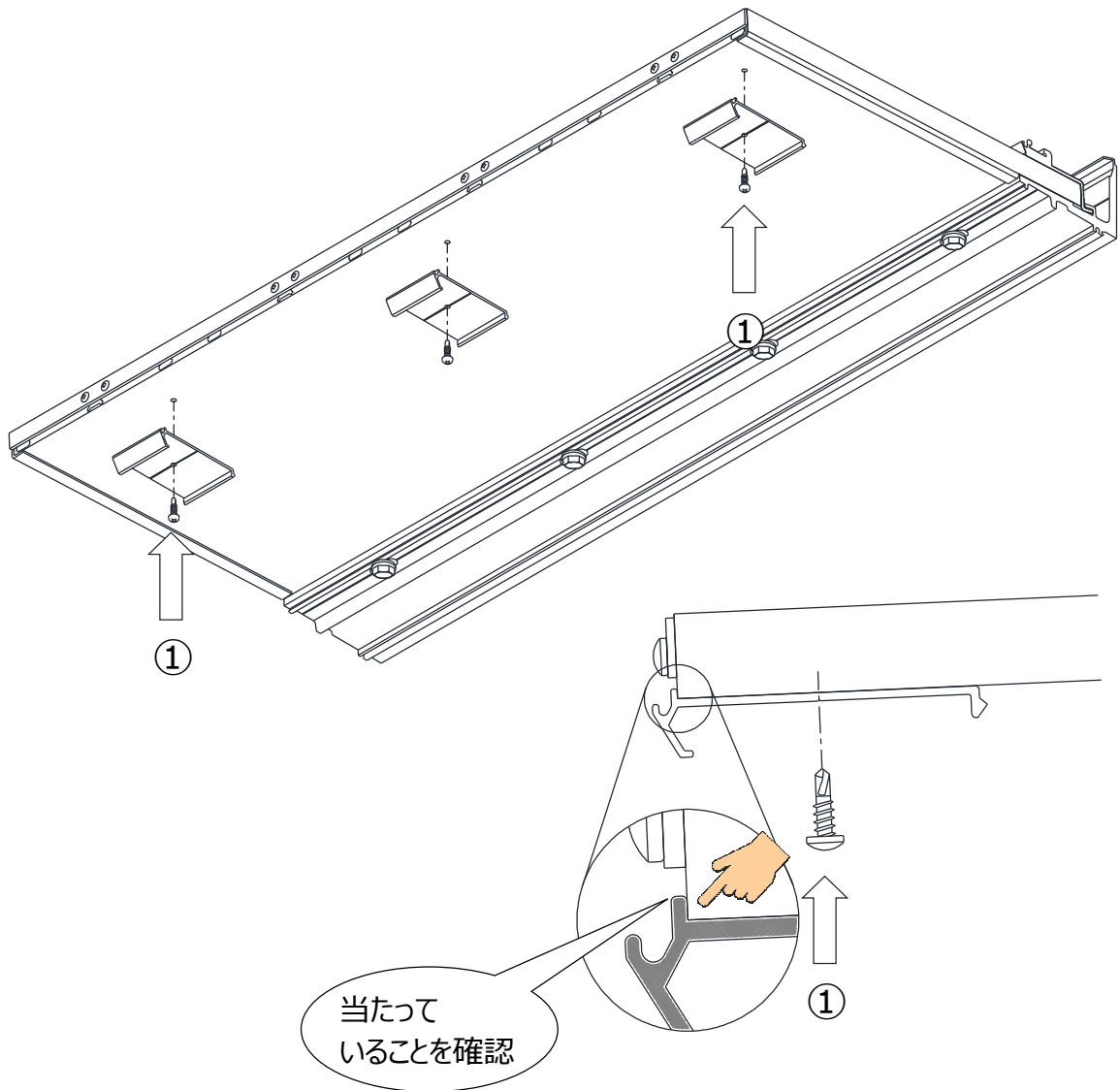
**準備するもの**

- 六角ボルト M8×45
- 平座金 M8



## 5. 先端見切ブラケットを取付ける (先端樋つき)

- ① 先端見切ブラケットを、庇ユニットの見上げ面（天井面）の下穴があいている箇所になべドリルねじで取付けます。



### 準備するもの

- 先端見切ブラケット



- なべドリルねじ 4×13

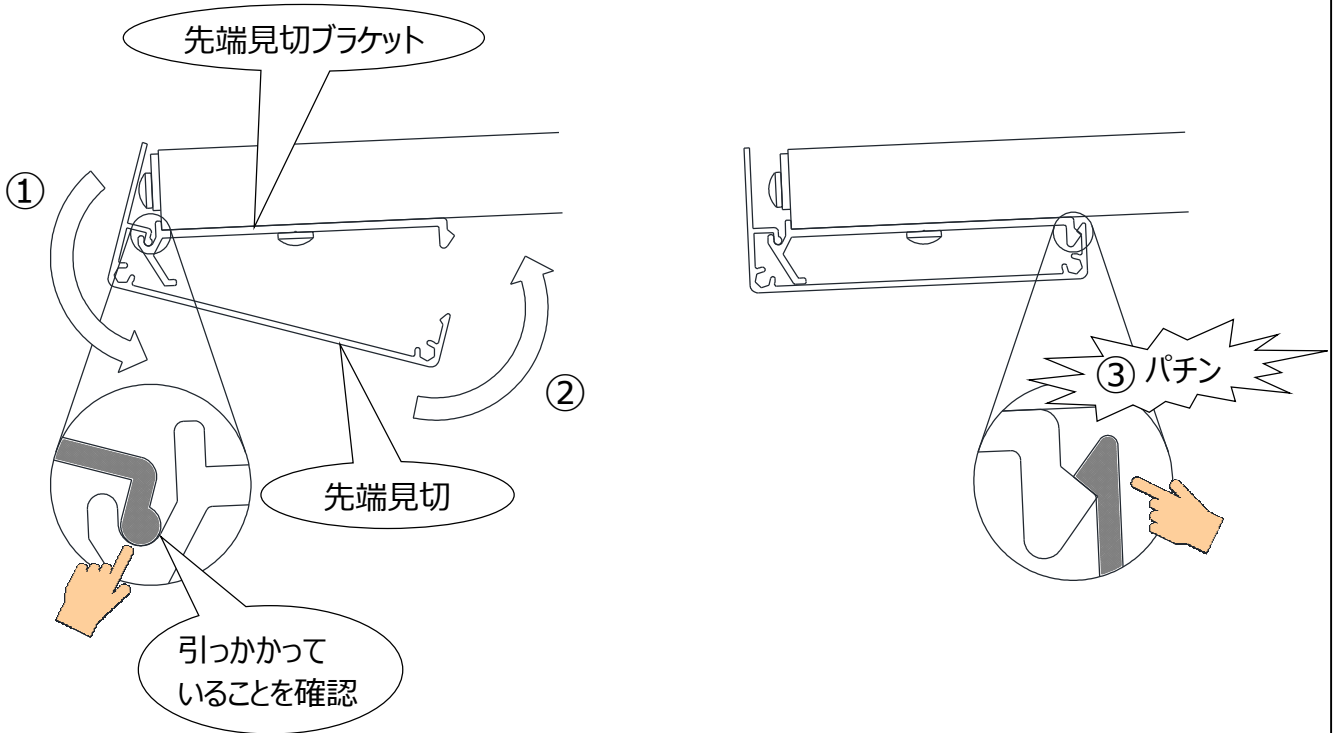
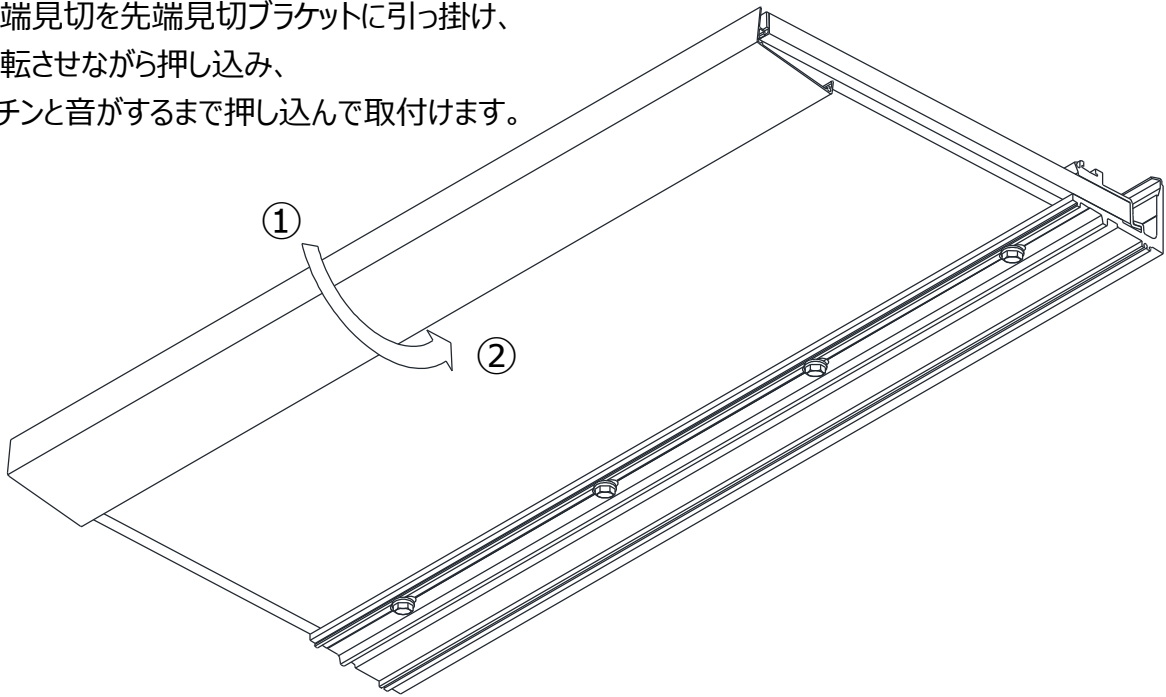


次ページへ続く⇒



## 6. 先端見切を取付ける (先端樋つき)

- ① 先端見切を先端見切ブラケットに引っ掛け、
- ② 回転させながら押し込み、
- ③ パチンと音がするまで押し込んで取付けます。



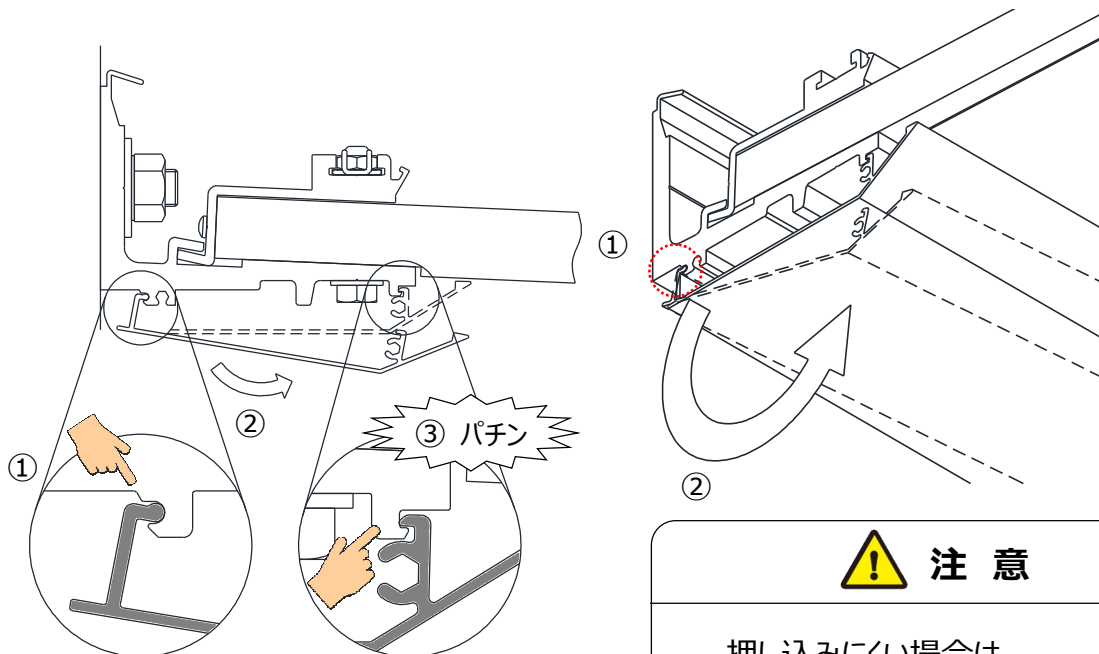
### 準備するもの

- 先端見切



## 7. カバー材（小）を取付ける

- ① カバー材（小）を壁軸材に引っ掛け、② 回転させ、③ パチンと音がするまで押し込みます。



**注意**

押し込みにくい場合は、  
当て木等をして軽く叩き込んでください。

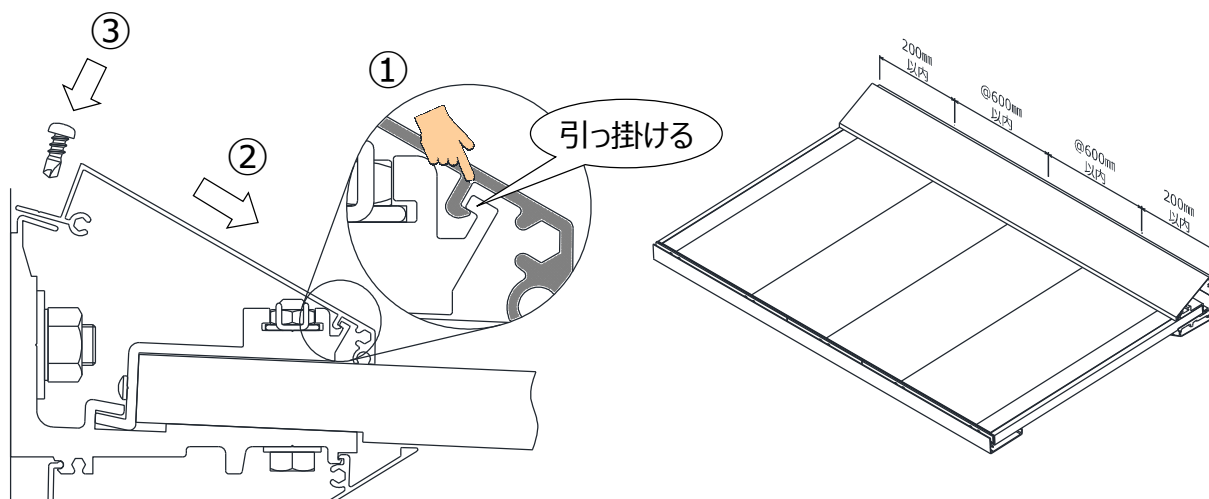
### 準備するもの



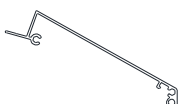
- カバー材（小）

## 8. カバー材（大）を取付ける

- ① パネル軸材に引っ掛け、② カバー材（大）を押さえながら、  
③ なべドリルねじで下図ピッチにて壁軸材に固定してください。



### 準備するもの



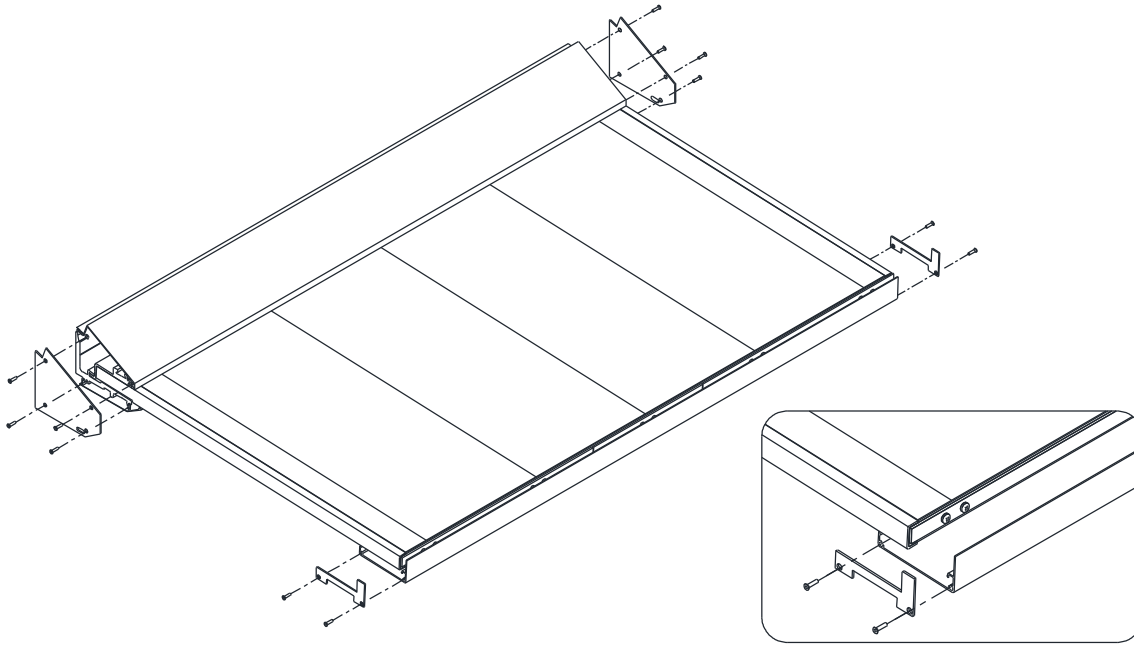
- カバー材（大）



- なべドリルねじ 4×13

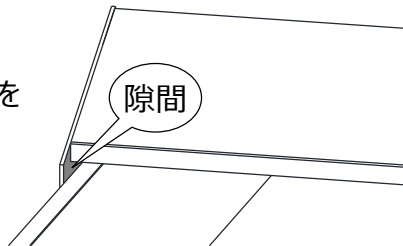
## 9. 小口蓋を取付ける

皿タップピンねじで小口蓋を固定してください。



### ⚠ 注意

端部と小口蓋との間に隙間が出来た場合は防水シール（別途）を施してください。

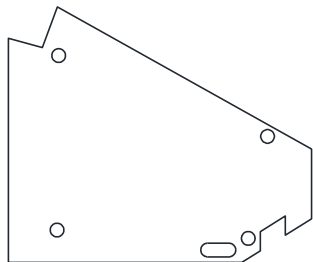


### 準備するもの

- 先端見切小口蓋



- 壁軸材小口蓋

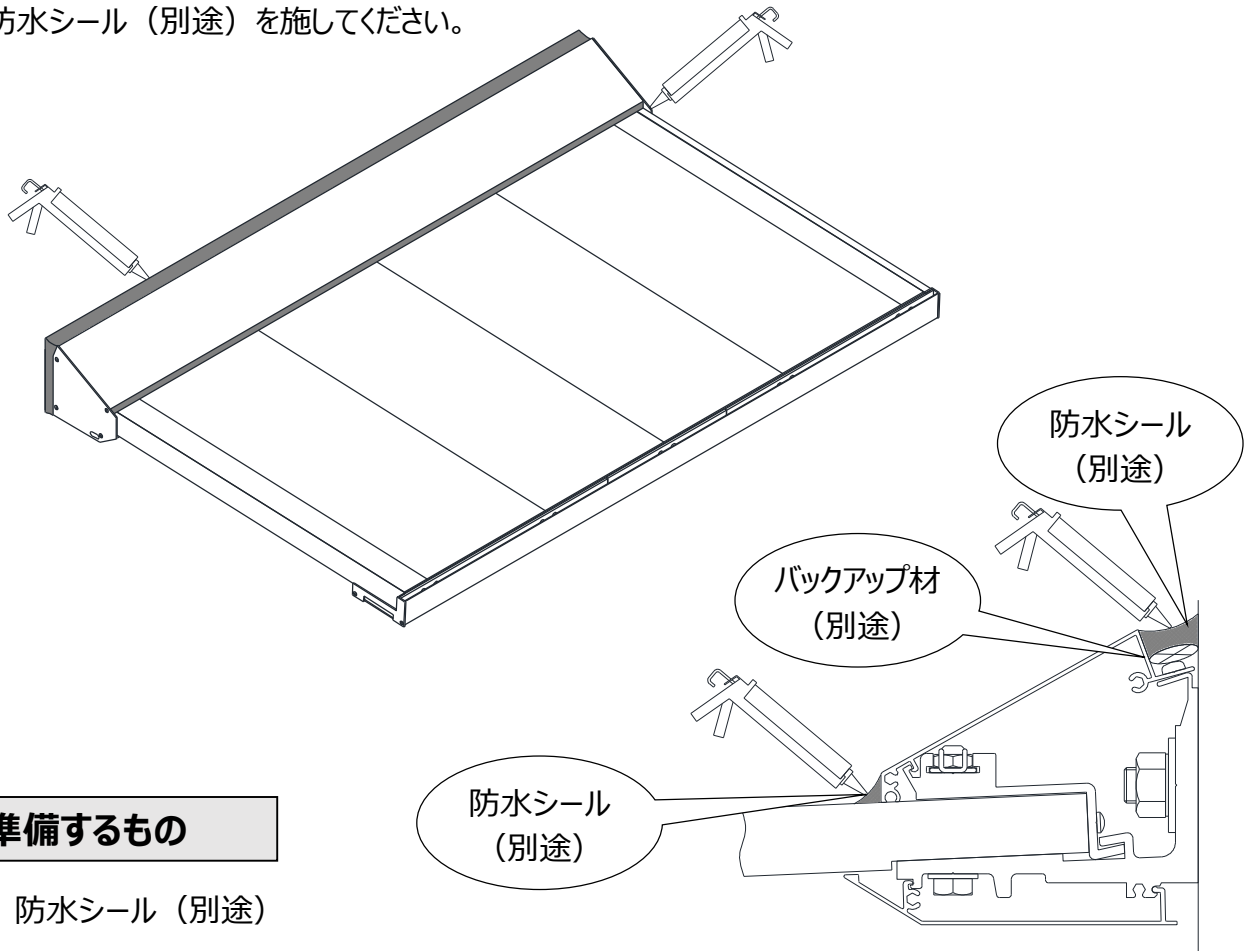


- 皿タップピンねじ 4×16



## 10. 防水シール工事（別途）

壁軸材の上部および端部とカバー材（大）と庇ユニットとの接合面に防水シール（別途）を施してください。



### 準備するもの

- 防水シール（別途）
- バックアップ材（別途）

## ⚠ 施工確認チェックシート

P.4 以降の施工手順中、重要なポイントをまとめていますので、ご確認ください。

チェックを入れながらご使用ください。

項目	チェック	内容	ページ
アンカー 取付要領		ボルトの長さは規定寸法ですか？ 【壁軸材】25mm	P.4
壁軸材		壁面の出入りは調整しましたか？	P.5
		取付ボルトは、規定数量通り確実に取付けましたか？	
		水平の確認は出来ていますか？	
庇ユニット		奥まで入っていますか？	P.6～7
		壁軸材に対し、平行になっていますか？	